

新基地建設反対名護共同センターニュース

2・1ゲート前県民大行動に800人結集



オール沖縄会議は1日、定例のゲート前県民大行動を行い、約800人が結集しました。稲嶺進、照屋義実、大城紀夫の各共同代表が「6月7日投票の県議選で与党候補を全員勝利させ辺野古新基地中止させ、安倍政権を追い詰めよう」と訴え、決意を固めました。ジュゴン保護キャンペーンセンターの吉川秀樹さんがジュゴン訴訟など辺野古新基地をめぐる米国の動きについて報告。オール沖縄の衆参国会議員5人と多くの地方議員が参加しました。

県議選、与党勝利で新基地中止を！

“非暴力の座り込みが機動隊の対応を変えている”
 —多くの人がこの場所に座り込めば止められる—



↑←は、1月30日のゲート前の様子

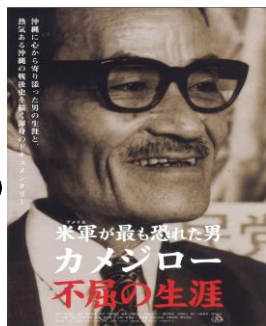
ゲート前では7日、約30人が座り込みました。司会の県統一連の瀬長和男事務局長（写真右）は「阿波根昌鴻さんの教えを守り非暴力での座り込みが機動隊の対応を、暴力的ではないものに変えてきている。この場所に座り込む人が多ければ新基地を止めることができます」と訴えました。



「やっぱりすごい！」「勇気がわいた」 名護で「カメジロー2」500人が鑑賞

映画「カメジロー・不屈の生涯」が3日、実行委員会主催・名護市教育委員会後援で上映され約500人が鑑賞しました。上映後のアンケートに95人が記入。「とてもよかった」が80人、「良かった」が9人と合わせて94%の人から好評をえました。以下、感想文の一部を紹介します。

- やっぱりすごい！私もこれからの一生、少しでも後輩のために頑張るぞ！という気持ちになりました。(55歳)
- カメジローさんの純粋な「沖縄への愛」が映画のどこからも感じて、心が動かされました。ありがとう！(34歳)
- とてもよかった。瀬長さんが守ってくれた沖縄をこれからは私たちが守り、子や孫に残していかななくてはと思う。不屈で頑張るよ！(65歳)
- 世界のどの政治家よりもすごい政治家だ。政治家は観るべきだ。(73歳)
- 感動！感動！の連続です。若い人たちにぜひ観てほしい。勇気がわきました。(68歳)



米軍基準満たさぬ滑走路

軟弱地盤で沈下 補修必要

辺野古新基地建設をめぐって2月1日、軟弱地盤の改良工事を経て建設される滑走路が米軍の性能基準を満たしていないことをメディアが明らかにしました。

東京新聞や琉球新報によると、計画される2本の滑走路では、使用開始後に8~12センチもふぞろいに沈む「不同沈下」が見込まれ米軍基準を満たさず、補修が必要なることを防衛省も認めました。この問題は伊波洋一参院議員（沖縄の風）が防衛省の担当者に「米軍基準を満たしていない」と追及してきたものです。（図は東京新聞）

辺野古新基地建設で防衛省が示した設計変更案

